

2019年11月26日
株式会社日本アルトマーク

精神病棟入院基本料 2年間で 38 病院 7,503 床減少 地域移行・地域生活支援にかかわる施設基準の届出は増加

株式会社日本アルトマーク(以下、日本アルトマーク、東京都港区・代表取締役社長 梅田友彦)は、精神科医療について、2019年6月時点の状況を調査いたしました。

長らく入院治療を中心としてきた我が国の精神科医療は、2004年9月に「精神保健医療福祉の改革ビジョン」において「入院医療中心から地域生活中心へ」という方針が示され、地域移行が進められることになりました。さまざまな施策が行われた結果、精神科病床数や平均在院日数は減少傾向となりましたが、退院後6ヶ月時点の再入院率が30%であるなど、まだまだ課題が多くあります※1。

2017年2月に公表された「これからの精神保健医療福祉のあり方に関する検討会」の報告書において「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の構築を目指すことが示され、2018年度診療報酬改定においては地域移行や地域生活支援の充実を含む質の高い精神医療が評価されるなど、精神障害者が地域で暮らせる仕組みづくりが始まりました。

今回は、「精神病棟入院基本料」の届出状況から現在の精神科病院数・病床数を、「精神科地域移行実施加算」「地域移行機能強化病棟入院料」「精神科在宅患者支援管理料」の届出状況から地域移行および地域生活支援の現状を調査し、まとめました。

※1 2018年12月18日開催「第1回精神保健福祉士の養成の在り方等に関する検討会」
資料2「最近の精神保健医療福祉施策の動向について」

◇精神 15 対 1 が最も多く 1,034 病院 128,681 床

2019年6月時点で精神病棟入院基本料(特定機能病院を除く)を届出していた施設は、1,201病院 142,011床であった。2年前の2017年6月時点と比較すると、38病院 7,503床減少した。(図1、図2、表1)

入院基本料別の届出状況は、精神 15 対 1 が突出して多く 1,034病院 128,681床であるが、2017年6月から2019年9月までの間に 39病院 6,498床減少した。(表1)

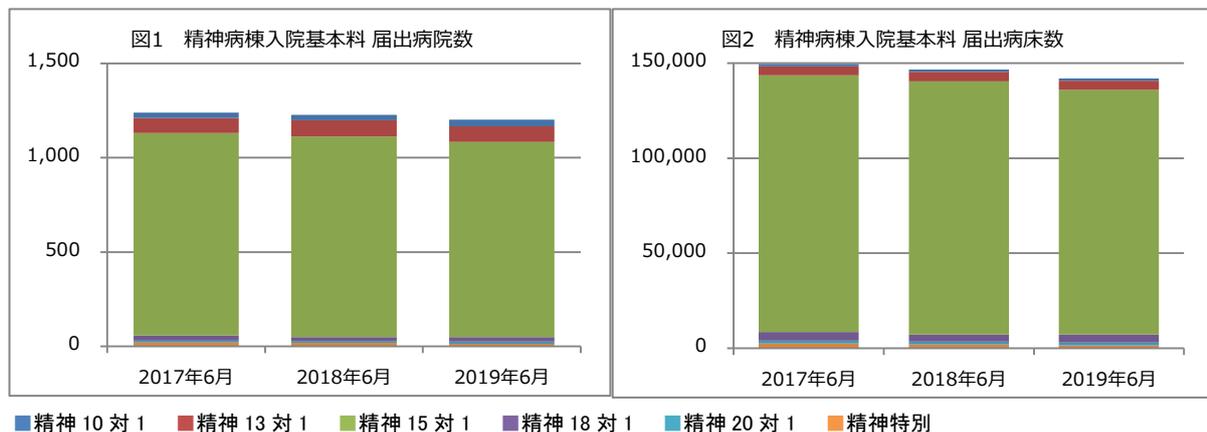


表 1 精神病棟入院基本料 届出病院数および病床数

	2017年6月		2018年6月		2019年6月		増減(2019年-2017年)	
	病院数	病床数	病院数	病床数	病院数	病床数	病院数	病床数
精神 10 対 1	29	1,118	30	1,155	35	1,305	6	187
精神 13 対 1	80	4,695	86	5,024	83	4,744	3	49
精神 15 対 1	1,073	135,179	1,063	133,260	1,034	128,681	▲ 39	▲ 6,498
精神 18 対 1	27	4,523	20	3,702	24	4,152	▲ 3	▲ 371
精神 20 対 1	10	1,470	11	1,534	11	1,601	1	131
精神特別	20	2,529	18	2,032	14	1,528	▲ 6	▲ 1,001
合計	1,239	149,514	1,228	146,707	1,201	142,011	▲ 38	▲ 7,503

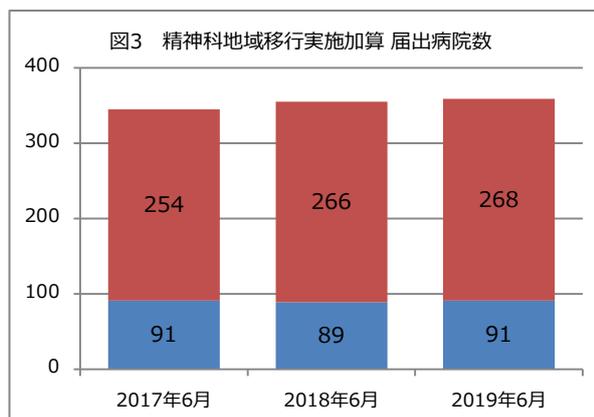
◇精神科地域移行実施加算 届出は精神病床をもつ病院の 22.0%

精神科地域移行実施加算は、2004年9月に策定された「精神保健医療福祉の改革ビジョン」の方針にそって2008年度診療報酬改定で新設された。地域移行を推進する部門を設置して、5年以上の長期入院患者に対して計画的に地域移行を進めた実績等を評価するものである。

2019年6月時点の届出病院数は359病院であり、全国の精神病床をもつ1,635病院の22.0%であった。2017年6月から2019年6月までの間に14病院増加した。(表2、図3)

表 2 病院種別の精神科地域移行実施加算 届出病院数(2019年6月時点)

	全国の病院数	届出病院数	届出割合
精神病院	1,058	268	25.3%
精神病床をもつ一般病院	577	91	15.8%
合計	1,635	359	22.0%



■精神科病院 ■一般病院

また、2019年6月時点で届出があった359病院のうち、2017年6月から2019年6月時点まで連続して届出していた病院は277病院あり、77.2%が継続した取組を行っていることがわかった。

◇地域移行機能強化病棟入院料 全国で 39 病院 2,160 床

地域移行機能強化病棟入院料は、長期入院患者の地域移行をより一層進めること、精神病床数を適正化することなどを目的に 2016 年度診療報酬改定で新設された。2019 年 6 月時点で 39 病院 2,160 床の届出があり、2 年前の 2017 年 6 月と比較して 4 病院 131 床増加した。(図 4、図 5)

2019 年 6 月時点の届出状況を病床規模別に見ると、300～399 床が最も多く 12 病院、次いで 200～299 床の 10 病院であった。(表 2)

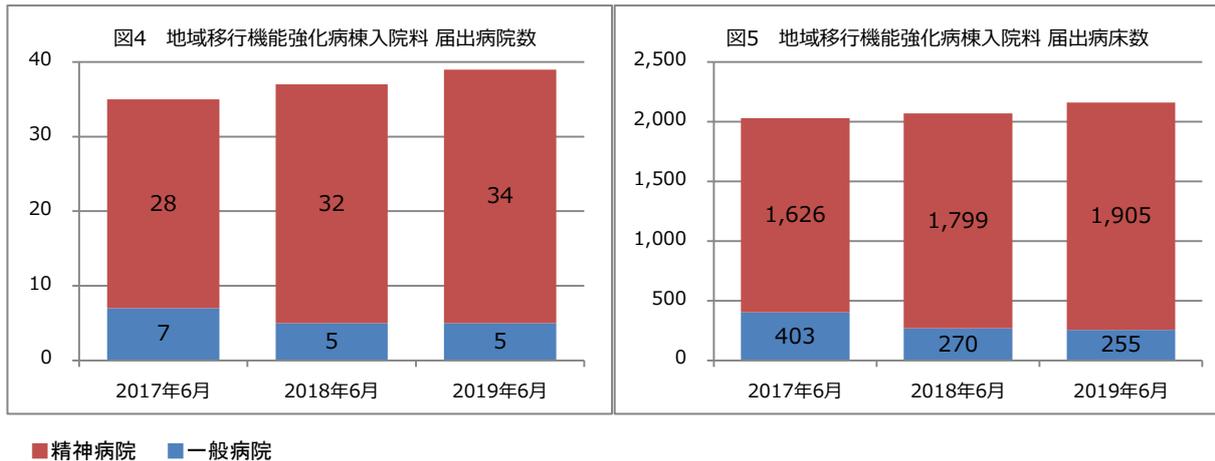


表 3 病床規模別の地域移行機能強化病棟入院料 届出病院数(2019 年 6 月時点)

病床規模	病院数	比率
20～99 床	0	0.0%
100～199 床	5	12.8%
200～299 床	10	25.6%
300～399 床	12	30.8%
400～499 床	7	17.9%
500 床以上	5	12.8%
合計	39	100.0%

また、経営体別の内訳は、医療法人が 33 病院、個人が 2 病院、その他の法人が 4 病院であり、国立や公的病院からの届出はなかった。

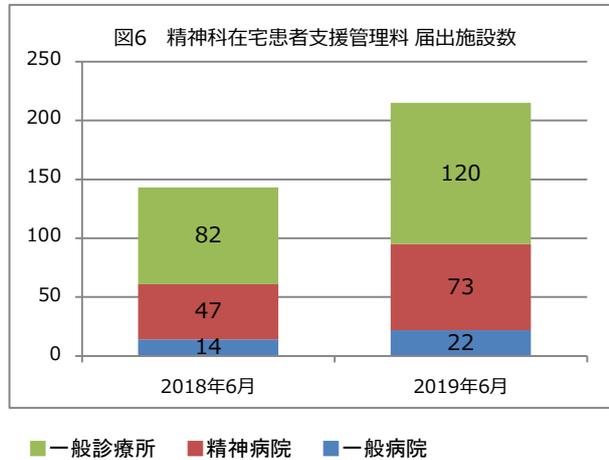
地域移行機能強化病棟入院料は 2020 年 3 月 31 日までに限り届出が可能とされている特定入院料であり、その期限が迫っている。2020 年度診療報酬改定に向けてどのような議論となるのか注目したい。

◇2018 年度改定で新設の精神科在宅患者支援管理料 届出増加率 50.3%

地域移行の推進にともない増加する在宅患者については、継続的な訪問支援を実施する施設を評価する精神科在宅患者支援管理料が 2018 年度診療報酬改定で新設された。

2019 年 6 月時点の届出施設数は 215 施設であった。143 施設から届出があった新設直後の 2018 年 6 月時点と比較すると 72 施設増え、50.3%の増加率であった。(図 6)

届出数の増加率から「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の構築に向けて医療連携が進み、地域における精神科医療がより身近になってきている様子がうかがえる。



[図 1、図 2、図 3、図 4、図 5、図 6、表 1、表 2、表 3]

出典：(株)日本アルトマーク [MDB α]

記事等へお取り上げくださる場合は、掲載誌を一部下記宛にご郵送いただけますようお願いいたします。

【お問い合わせ先】

株式会社日本アルトマーク MDB オペレーション部 白井
 〒108-0014 東京都港区芝 5 丁目 33 番地 1 号 森永プラザビル本館 15 階
 TEL. 03-6809-6251(平日 9:00~17:30) FAX. 03-3453-4140

【会社概要】

会社名	株式会社日本アルトマーク
代表者	代表取締役社長 梅田 友彦
所在地	東京都港区芝 5 丁目 33 番地 1 号 森永プラザビル本館 15 階
資本金	5,550 万円
設立	1962 年 3 月
従業員数	119 名(2019 年 7 月 1 日現在)
事業内容	メディカルデータベース(MDB)事業
ホームページ	http://www.ultmarc.co.jp